

試験結果報告書

セブン工業株式会社

東京都荒川区東日暮里 2-32-6
TEL03-3803-0421 FAX03-3802-3175

1. 目的

ブロングアンカーの強度を測定する。

2. 試験

試験体

- 1) ブロングアンカー 折り曲げ強度 A～E 5本
- 2) ブロングアンカー カシメ強度 A～C 3本
- 3) ブロングアンカー ハイパーコーク使用品 A～B 2本

試験機材

(株)イマダ 縦型電動計測スタンド
(株)イマダ デジタルフォースゲージ 1,000N
記録用 PC
治具類

試験方法

ブロングアンカーのワッシャー部とプレート部に、治具をつかい鉛直方向の荷重を加え強度を測定する。

また、プレートとブレードのカシメ強度はブレード部分を引っ張り、測定をおこなった。

3. 結果

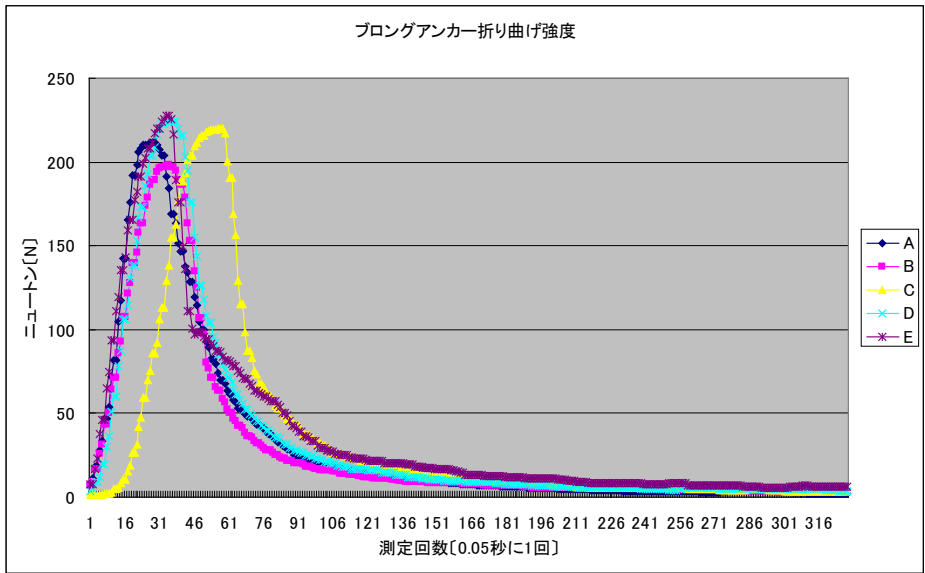
- 1) ブロングアンカー引っ張り強度
A 211.4N B 198.5N C 220.2N D 224.3N E 227.5N 平均 216.4N
- 2) ブロングアンカーカシメ強度
A 430.1N B 686.2N C 536.8N 平均551.0N
- 3) ブロングアンカーハイパーコーク使用
A 268.7N B 278.7N 平均 273.7N

ブロングアンカー折り曲げ強度は平均 216.4 N、カシメ部分は平均 551.0 N で降伏する。
また、ワッシャー折り曲げ部にハイパーコークといったシーリング剤を塗布することである程度強度が上昇した。

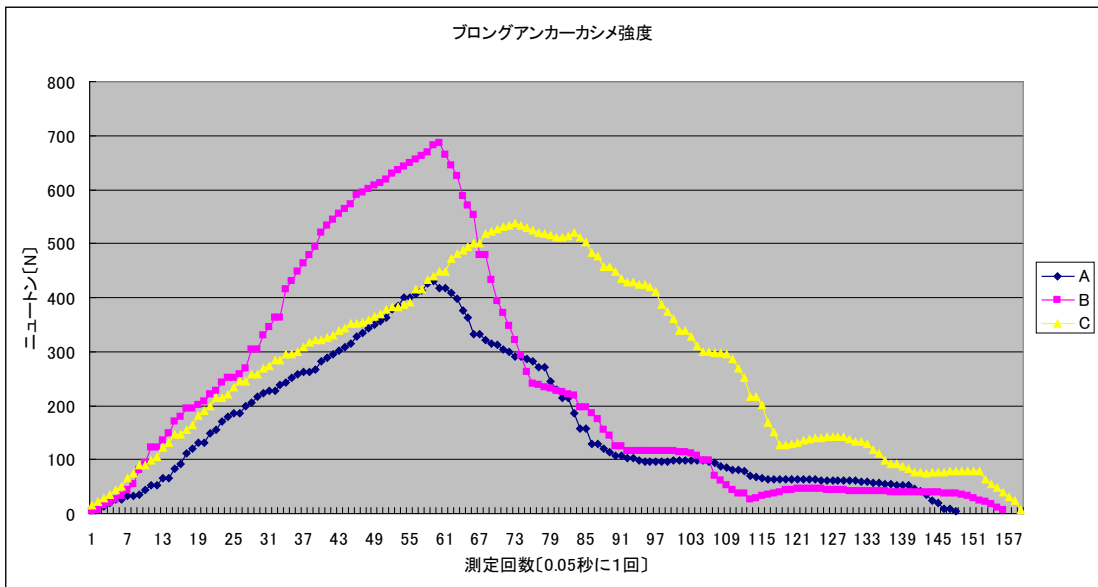
4. 考察

ブロングアンカー全体にて一番強度が弱い部分は折り曲げ部分であり、平均 216.4N 以上の荷重が加われば脱落する可能性が考えられる。また、ハイパーコークといったシーリング剤を塗布することで強度を上げることができる。

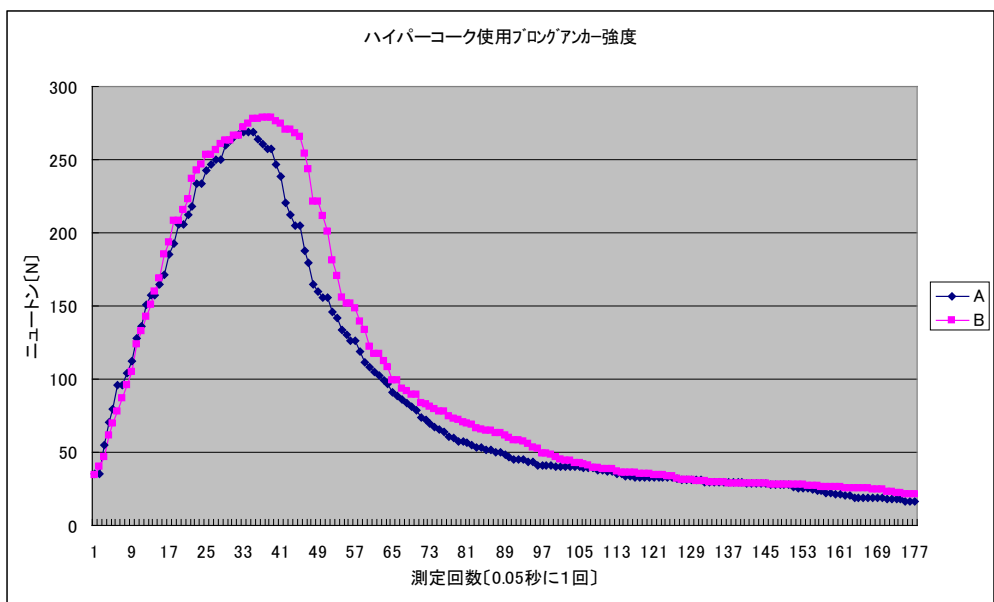
以上



グラフ1 ブロングアンカー折り曲げ強度



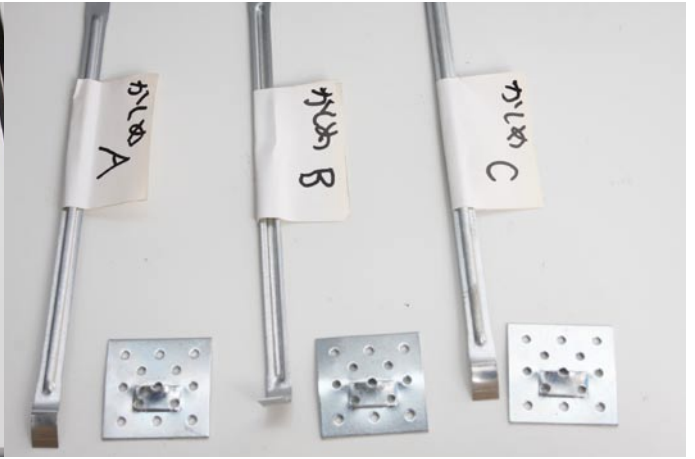
グラフ2 ブロングアンカーカシメ部強度



グラフ3 ブロングアンカーハイパーコーク塗布折り曲げ強度



画像1 試験体1



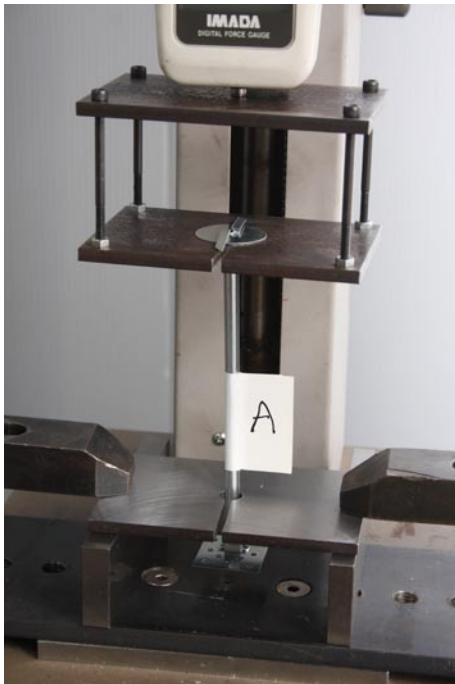
画像2 試験体2



画像3 試験体3



画像4 試験機材



画像5 試験風景



画像6 試験風景